



証券コード 9385

株式会社ショーエイコーポレーション

2024年3月期 第1四半期

決算発表補足資料

2023年8月9日

目次

2024年3月期 第1四半期の業績 P. 3

今後の展開 P.11

2024年3月期
第1四半期の業績

2024年3月期第1四半期の業績(連結)

	2024年3月期 第1四半期実績				2023年3月期 第1四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	予算比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	4,981	100.0	94.9	101.8	4,895	100.0
売上原価	3,952	79.3	95.0	98.7	4,003	81.8
売上総利益	1,029	20.7	94.3	115.4	892	18.2
販売管理費	853	17.1	97.5	90.8	940	19.2
営業利益	175	3.5	81.4	-	▲48	▲1.0
経常利益	720	14.5	342.2	-	▲47	▲1.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	575	11.6	390.5	-	6	0.1
1株当たり 当期純利益(円)	74.49	-	-	-	0.86	-

売上高は堅調に推移し、利益面では営業的・財務的な施策を実施したことで利益率が回復した。そして営業外においてはデリバティブ評価益を計上したことで大幅な増益となった。

※百万円未満切り捨て

セグメント別 2024年3月期第1四半期の業績

	2024年3月期 第1四半期実績			2023年3月期 第1四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	4,981	100.0	101.8	4,895	100.0
営業促進支援事業	2,376	47.7	94.1	2,525	51.6
商品販売事業	2,629	52.8	110.8	2,373	48.5
その他の事業	-	-	-	6	0.1
セグメント間の 内部売上高	▲24	▲0.5	-	▲9	▲0.2

営業促進支援事業は、大口販促キャンペーン等の減少やアSEMBリ作業が落ち込んだ。
商品販売事業は、付加価値の高いポリ製品が好調、インテリア雑貨等の導入が進んだ。

※百万円未満切り捨て

営業促進支援事業 2024年3月期第1四半期の業績

	2024年3月期 第1四半期実績			2023年3月期 第1四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	2,376	100.0	94.1	2,525	100.0
販売促進	1,204	50.7	96.0	1,253	49.6
OEM	725	30.5	87.4	830	32.9
発送代行	447	18.8	101.2	441	17.5
売上総利益	462	19.4	87.4	528	20.9
セグメント利益	67	2.9	138.4	48	1.9

※百万円未満切り捨て

※各事業の売上高については、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

商品販売事業 2024年3月期第1四半期の業績

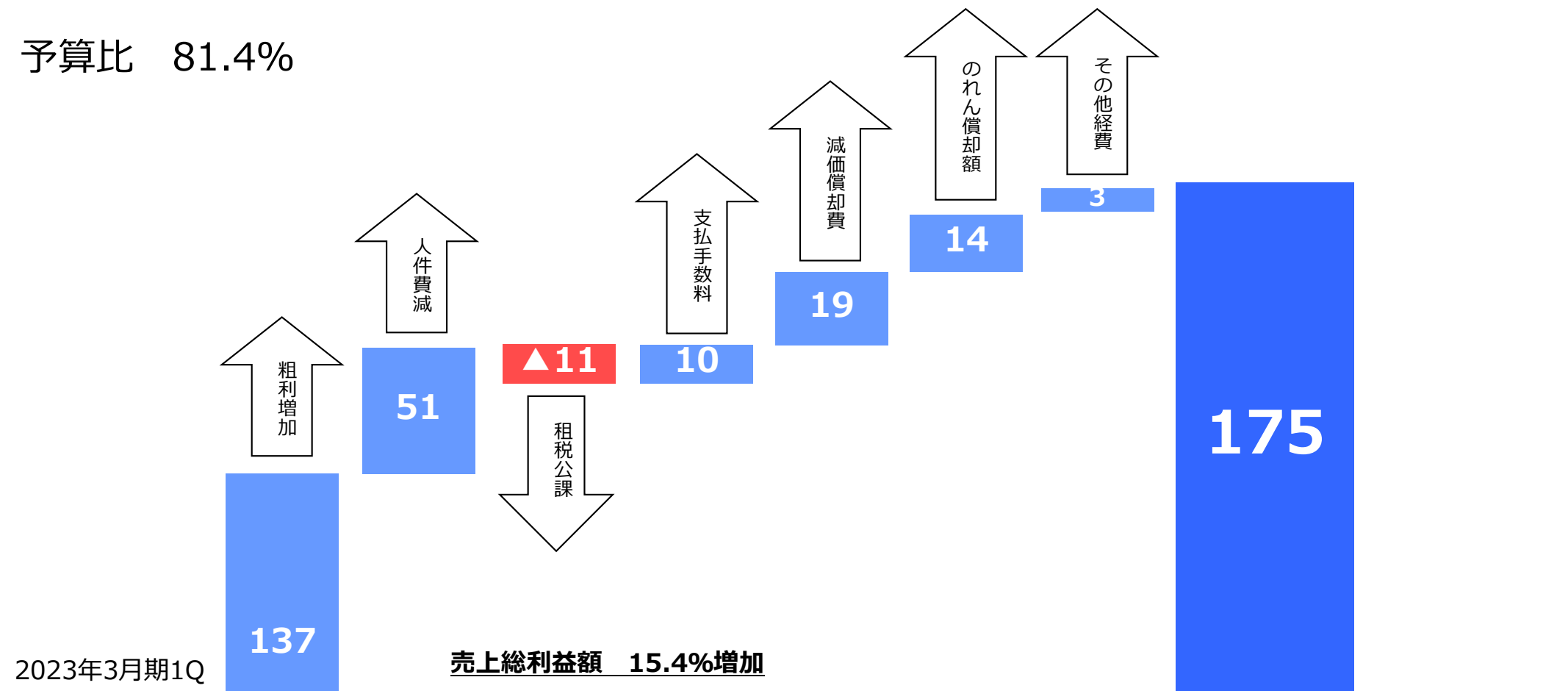
	2024年3月期 第1四半期実績			2023年3月期 第1四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	2,629	100.0	110.8	2,373	100.0
100円	2,124	80.8	117.7	1,805	76.1
量販店	242	9.2	74.1	327	13.8
その他	261	10.0	109.1	240	10.1
売上総利益	567	21.6	157.8	359	15.2
セグメント利益	108	4.1	-	▲100	▲4.3

※百万円未満切り捨て

※各事業の売上高については、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

営業利益増減の要因

予算比 81.4%



○利益減少要因
・租税公課 …利益の増加による

○利益増加要因
・売上総利益 …高収益製品の導入や仕様の変更、また価格転嫁を進めたため
・人件費 …前期発生 of 役員退職慰労金の減、年金資産の運用益があったため
・減価償却費 …顧客関連資産償却額の減少
・のれん償却額…償却額の減少

※百万円未満切り捨て

財政状態(貸借対照表主要科目) (連結)

	2023年3月期		2024年3月期 第1四半期末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
現金及び預金	1,267	11.5	1,330	12.6	5.0
受取手形及び売掛金	2,973	26.9	2,659	25.1	▲10.5
たな卸資産	2,478	22.5	2,317	21.9	▲6.4
有形・無形固定資産	2,568	23.3	2,555	24.1	▲0.4
その他	1,747	15.8	1,729	16.3	▲1.0
資産合計	11,034	100.0	10,592	100.0	▲4.0
支払手形及び買掛金	1,251	11.4	1,174	11.1	▲6.1
短期・長期借入金	5,299	48.0	4,876	46.0	▲7.9
その他	1,678	15.2	1,301	12.3	▲22.4
負債合計	8,230	74.6	7,353	69.4	▲10.6
純資産合計	2,804	25.4	3,239	30.6	15.5
負債純資産合計	11,034	100.0	10,592	100.0	▲4.0

※百万円未満切り捨て

2024年3月期業績予想に対する進捗状況

	2024年3月期 第1四半期	2024年3月期 通期	進捗率 (%)
売上高	4,981	21,856	22.8
営業促進支援	2,376	11,294	21.0
商品販売	2,629	10,561	24.9
売上総利益	1,029	4,657	22.1
営業利益	175	1,166	15.1
経常利益	720	1,146	62.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	575	803	71.7

※百万円未満切り捨て

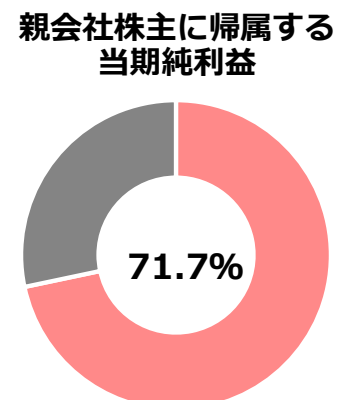
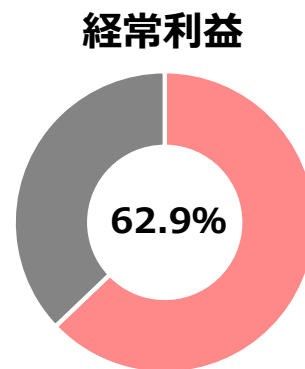
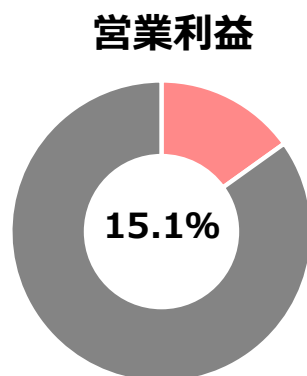
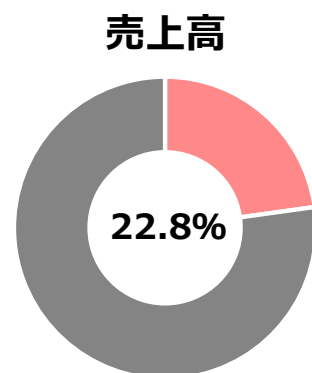
営業促進支援事業

お客様のニーズを的確に把握し、販促提案、充填作業、アSEMBリ作業、発送代行など様々なサービスを複合的に提供する営業体制を推進。また、パッケージのみならず化粧品、日用雑貨品の提案力を磨き、設備投資を強化し生産能力の拡大を行う。

商品販売事業

収益性改善を進めると同時に、ECなどへの市場開拓の強化。OEM生産、国内調達品などによる製品の販売を進め、輸入仕入の比率を下げることで為替など世界情勢の変動への耐性を高める。

通期予想に対する進捗率



今後の展開

営業促進支援事業の今後の展開

ショーエイ創生期の販売先のほとんどは、パッケージ問屋（2次、3次も含む）中心の販売。メーカーなどのエンドユーザー向けは少なくパッケージの販売のみ。



過去

現在

パッケージ販売 + α
サービス（役務）を複合販売

- ・ アセンブリ作業
- ・ 充填
- ・ 販促企画制作
- ・ DM発送代行

1次問屋、エンドユーザー企業向けが拡大するとともに、パッケージに加えて役務を複合的に販売することが多くなってきた。大阪センター、神奈川センターのアセンブリ、大阪第2センターでの充填加工など。

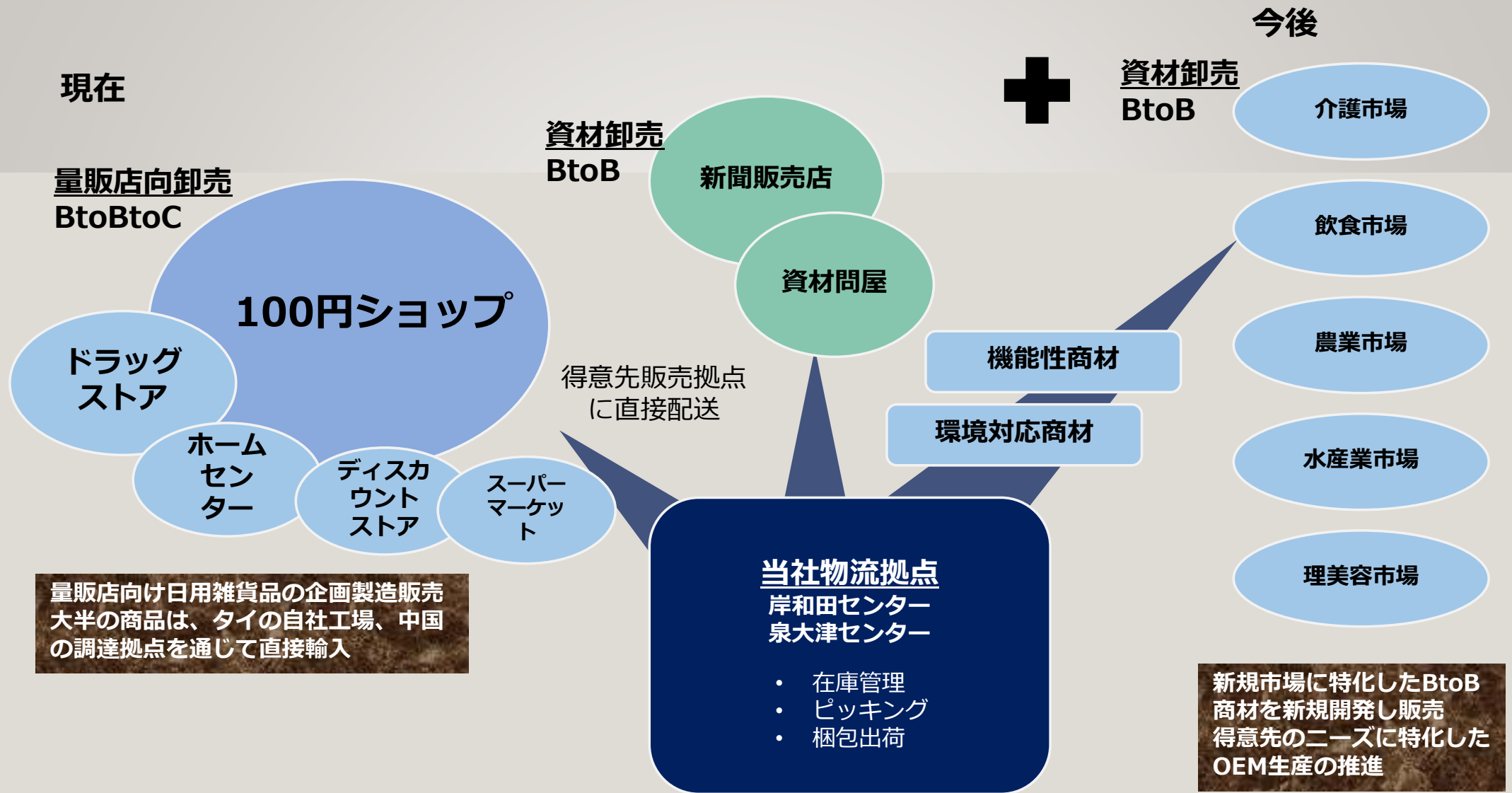
未来

OEM → ODM

日用雑貨品、化粧品などを
企画製造販売

複合販売を発展させて、社内に商品開発体制を整備し、グループ内のメーカー機能を活用したOEMによる、製品販売を拡大してゆく。さらには当社が企画を主導するODMまで昇華させていく。

商品販売事業の今後の展開



今後も変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

株式会社 ショーエイコーポレーション

お問合せ先：コーポレート統括部

T E L : 06-6233-2636 F A X : 06-6233-2615

ホームページU R L : <https://www.shoei-corp.co.jp/>